



7・8月の保健だより



たかさご保育園

園内の笹飾りには、たくさんの願い事が揺れています。梅雨の晴れ間には夏の日差しが降り注ぎ、子ども達は大好きな水遊びを楽しんでいます。

子どもは外気温の影響を受けやすく、体温が早く上昇します。そのため大人よりも早く熱中症にかかりやすいのです。喉が渇いていなくても水分をこまめに摂るようにし、食事と睡眠もしっかりととり、暑い夏を乗り切っていきましょう。

～保健行事～

0才児健診

7月 8日 (火)

7月 22日 (火)

8月 19日 (火) (8月は1回のみ)

☆歯科健診（前期）を行いました。

虫歯の集計は9月保健だよりにてお知らせいたします

- ・虫歯があったお子さんは早めに歯科受診をしましょう
- ・乳歯は永久歯に比べて虫歯が進行しやすく、また乳歯の虫歯は永久歯の質や歯並びにも影響することがあります
- ・虫歯になりそうなお子さんには寝る前の仕上げみがきを引き続きお願いいたします。また、歯の清掃や歯みがき指導なども歯科でご相談いただくことをお勧めします

～夏の肌トラブル～



【虫刺され（蚊）】

人が刺されると直後に腫れ、直に治ります。子どもは刺されてしばらく経ってから、大きく腫れて水ぶくれが出来ることもあります。搔き壊さないよう、早めに手当をしましょう。

- ①刺されたところを水で洗い流します
- ②痒み止めを塗ったり、また塗らない場合は濡らしたガーゼやハンカチで包んだ保冷剤などをあてて痒みを和らげます

【あせも】

汗の出る穴が詰まり、皮膚の内側に汗が溜まって炎症がおこる症状で、細かく赤い発疹とかゆみがあります。

- ①シャワーで汗をよく洗い流せると良いですが外出先などでは汗の成分が皮膚に残らないよう、濡らしたタオルで汗を拭きとりましょう
- ②汗をよく吸い取る綿の肌着やシャツを着るようにしましょう

③ひどくなるようなら受診し塗り薬を処方してもらいましょう

【とびひ】

皮膚を搔きむしって傷ができる、そこに細菌感染を起こしてジクジクした湿疹ができます。とびひは感染力が強い上に、ひどい痒みのため、搔いた手で体の他の部分を触ると、そこにも湿疹が広がります。治療は抗菌薬の軟膏や内服になります。患部は石鹼でよく洗いシャワーで洗い流して清潔に保ちます。タオルは個別で使用しましょう。患部はガーゼなどで覆い、直接接触を避けるようにします。

※保育園は、ガーゼで保護していれば登園していただけます。ただし、顔の場合は0才児クラスに限り、顔の保護剤は安全上使用できませんので、保護剤が必要の間、登園はお控え下さい。

【水いぼ】

皮膚にウイルスが感染してできる小さないぼです。子どもによくみられ、できやすいのは体幹（胸腹背中）や手足、わきの下など皮膚が薄い部分や、皮膚が擦れて摩擦を受ける部位です。治療はピンセットを用いてつまんで中身を出したり、液体窒素、硝酸銀溶液塗布などがありますが、自然に治癒することも多い為、治療をせずに経過をみるのも一つでしょう。もしも数が増えたり、大きなものが出来た時には医師に相談しましょう。タオルは個別で使用しましょう。

旅行、帰省の計画があるご家庭へ

夏季には海外からの旅行者も増えたり、海外への渡航をされるご家庭もあるかと思います。感染症の拡大防止のため、海外・国内旅行後に発熱・咳・下痢・倦怠感・発疹・黄染などの症状がある場合は、受診をしてから登園するようお願いいたします。
またお休み中に体調変化などがありましたら、登園時にお伝えください。